

れいめい

REIMEI



maihoro



sunnys



raiz

今号のテーマ メンバーの頑張りを支える

令和8年9月1日発行 第26号

サニーズマーケット

結果はさておき・・・

サニーズマーケット 山田 遼太郎

皆さんはアメリカの小説家であるヘミングウェイの代表作「老人と海」をご存じでしょうか。『漁師である老人が三日三晩の死闘の末に大物の魚を釣り上げますが、港に帰る途中でサメに襲われてしまいます。なんとかサメを撃退し、港に着きますが、せっかく釣った魚はサメに食べられて骨だけの状態になってしまいました。しかし、老人はどこか満たされた様子で寝床に着きました』というのが大まかなあらすじです。

この物語を読んだとき「頑張ったのに可哀想」とか「結果的に何の収穫もない」という感想を持つ人もいるかもしれません。ですが老人はというと魚との死闘や自然界の厳しさを通じて、疲労感だけでなく、得も言われぬ充実感を抱きながら寝床に着いているのです。この充実感の正体は、目に見える結果が全てではなく「努力、挑戦、試行錯誤」といった過程そのものが、何者にも代え難い経験であるという老人の価値観からくるものです。

さて、この話を私たちの仕事である就労支援に照らし合わせてみるとどうでしょうか。利用者の方を老人（漁師）に、「体力をつける」「製品を綺麗に仕上げる」「報連相ができるようになる」などの多種多様にある目標を魚に置き換えます。目標を達成することが利用者の方にとっての収穫であるとした場合、目標が達成できなかったら全く収穫がないということでしょうか？それまでの努力は無意味だったのでしょうか？仮に利用者の方がそう感じていたら、私たちは支援者としてどんな関わり方ができるのでしょうか？

少なくとも私たち支援者は「できなかった」という結果だけに囚われず、物事を大局的に捉え、利用者の方が持つ強みや可能性に着目していく必要があります。そして、そういった要素は何らかの結果からではなく、ごく普通の毎日（過程）の中から導き出されることも多いのです。過程の中には思わぬ収穫が隠されているかもしれないという視点を利用者の方に伝えていくことで、利用者の方が物語に登場する老人のように「結果はさておき」と捉えられるようになれば、必要以上のプレッシャーから解放され、毎日をより充実させていけるのではないのでしょうか。

作中で老人はこう言っています。『人間は負けるようにはできていない、打ちのめされることはあっても負けはしない』この言葉は目標に向かって取り組み続けるプロセスにこそ価値があるというメッセージに他なりません。もちろん結果は大切です。そして結果の良し悪しに対して利用者の方と支援者が一喜一憂を共有することも大切です。しかし、ときには「結果はさておき」という捉え方が、前を向き次に進むきっかけになることを忘れずに、利用者の方と関わっていきたいと思います。

らいず

笑顔でチャレンジ！～楽しく体を動かし 一人ひとりが輝く時間～

らいず 福田 明子

知的障害のある方の歩行には個人差がありますが、障害特性や筋力の低下、加齢などにより、すり足や小刻みな歩行、歩幅が狭くなる、左右のバランスが不安定になる、姿勢が前かがみになるなど、さまざまな特徴が見られることがあります。また、運動経験の少なさや疾病、服薬などが影響する場合もあります。

そのため、足をしっかり上げることを意識した運動や、バランス能力を高める運動は、転倒予防だけでなく、体力の維持・向上にもつながります。さらに、適度な運動にはストレスの解消や睡眠の質の向上など、心身の健康を支える効果も期待されています。激しい運動や長時間の運動を行う必要はなく、一人ひとりの状態に合わせて、無理なく楽しく取り組むことが大切です。

「らいず」でも、利用者の皆さんが楽しみながら参加できる運動プログラムを取り入れています。活動では、一人ひとりの「やってみたい」という気持ちを大切に、それぞれのペースで挑戦できるよう支援しています。中でも人気なのが平均台を使った運動です。バランス感覚や体幹、空間を認識する力などを養うことができます。

ある利用者の方は、初めはなかなか上手に渡ることができませんでした。しかし、支援員と何度も練習を重ねるうちに、少しずつ自信がつき、最後まで渡れるようになりました。その姿からは、「できた！」という喜びだけでなく、仲間からの応援や励ましを力に変えながら、一歩ずつ成長していく様子が感じられました。

できなかったことができるようになる——その小さな成功体験の積み重ねが、大きな自信につながっていきます。これからも「らいず」では、体力づくりだけを目的とするのではなく、運動を通して「やってみよう」「できた！」という気持ちや達成感を育んでいきたいと思えます。一人ひとりの「できる」を大切にしながら、笑顔で楽しくチャレンジできる時間を、これからも一緒につくっていきます。

まほろ

過酷な夏場の屋外作業への取り組み～家庭と連絡を密にとり活動の幅を広げる～



まほろ 浦野 哲

花野菜事業部では、季節の花苗や野菜を育て、お客様に「喜んで購入していただける品質」を目指して、さまざまな工夫や対策を行いながら栽培に取り組んでいます。特に夏場は、厳しい暑さの中で玉ねぎやじゃがいもの収穫を行います。収穫した野菜をコンテナに入れ、運搬する作業は体力を必要とする重労働です。そのため、利用者一人ひとりの体調や特性に合わせて、無理なく安全に作業できる環境づくりを大切にしています。

その中で、大きな変化が見られた利用者さんがいます。Aさんは汗をかくことが苦手で、体に熱がこもりやすく、暑い環境で長時間作業を続けることが難しい方でした。そこで、昨年、理事長様や家族会縫製班様から提供していただいた「空調服」を活用するとともに、ご家庭とも密に連絡を取りながら、涼しく快適な作業着や首元を冷やすクールタオル、保冷剤などを準備していただきました。こうした取り組みを重ねることで、Aさんは暑い日でも集中して作業に取り組めるようになりました。現在では、20kg 近くある玉ねぎやじゃがいもを持ち上げ、軽トラックまで運んで積み込む作業にも取り組んでいます。作業に集中できるようになったことで、事故やけがの予防にもつながり、体力の向上や体調の安定も見られるようになりました。ご家庭からも、グループホームやご自宅で体調を崩すことなく、安定して過ごせているとの嬉しい報告をいただいています。

このような一人ひとりの「できた！」という経験を積み重ねることが、利用者さんの自信や意欲、そして働く喜びにつながっていると感じています。一方で、ここ数年は作業以外の活動が少なくなっていました。今後は、楽しい行事や交流の機会も増やし、利用者さんのモチベーションアップにつなげていきたいと考えています。

「仕事もその他の活動も一生懸命！」をモットーに、これからも利用者さん一人ひとりの力を大切にしながら、工賃アップを目標として、花野菜事業部全員で力を合わせて取り組んでいきます。また、ご家庭との連携も大切にしながら、安全で楽しく、やりがいを感じられる活動を目指していきます。

グループホーム

安心できる毎日と「自分でできる」を大切に

ソレイユ 吉田 翔太 ・ あおぞら 角田 美奈

グループホームでは、利用者さん一人ひとりの個性や生活リズムを大切にしながら、安心して自分らしい生活を送れるよう支援しています。

ホームソレイユでは、現在 4 名の男性利用者さんが生活されています。日中は「まほろ」や「らいず」などの事業所で活動し、夕方になると送迎バスで元気にホームへ帰ってきます。帰宅後は、日中に使用した物の確認や翌日の準備を済ませ、お茶やおやつを楽しみながらほっと一息。その後は、テレビを観たり、好きな歌を口ずさんだり、折り紙や雑誌・新聞を読んだり、それぞれが思い思いの時間を過ごされています。

ホームあおぞらでは、6 名の女性利用者さんが生活されています。帰宅後はおやつや入浴、夕食を楽しみ、職員と一緒に折り紙やお絵かきをしたり、自室でゆっくり過ごしたりと、穏やかな時間を過ごされています。翌朝には、送迎バスを待つ間に皆さんで「うめぼし体操」を行い、元気に一日をスタートしています。

両ホームでは、日常生活の中にある「自分でできること」を大切にしています。食後に食器をキッチンへ運ぶ、洗濯物を干したり畳んだりする、掃除や食事の準備を行うなど、それぞれができる範囲で取り組んでいます。難しい場面では職員がそばで見守り、必要に応じて一緒に行くことで、無理なく挑戦できるよう支援しています。

これからも、利用者さんの「やってみたい」「自分でできた」という気持ちを大切にしながら、一人ひとりのペースに寄り添い、安心と温もりのある暮らしを支えていきます。

放課後等デイサービス

買い物体験で広がる「できた！」



サニーズマーケット 高木 順子

放デイの子どもたちは、元気いっぱいのヤンチャくんたち。社会という外の世界には、いつも心配事がいっぱい、苦手を感じることもあります。

そんな子どもたちも買い物体験を通じて、社会という世界での「買い物」という役割を挑戦しています。少ないお小遣いの中で考え考え工夫しながら満足のいくものを買う達成感を味わう。計算は自分で行う子、職員が手伝う子。職員は自分で行ってもらうように見守り、いざという時のサポート係です。

駄菓子屋では雰囲気が違うのか、のびのびとしてお店の方にも気楽に声を掛けていますが、大型スーパーなどは勝手が違うようです。行き慣れた場所でもあるので、品物選びの時は自由に店内を行き来し、お菓子を吟味しています。

試練はその後にやってきます。以前はレジに並び店員さんをお願いしていましたが今はセルフレジというものがあります。有人レジでは最後の「〇〇円になります」と言われ、合っているのかなあと心配そうに職員の顔を覗き込みながらお金を渡していました。セルフでは最初の画面に、ここ？と心配そう。タッチパネルに慣れてはいますが、タッチすべき場所は慎重になるようです。商品スキャンがうまくいかずちょっとイライラしたり、会計時にちょっとオーバーしてしまったり。色々なハプニングが襲ってきます。全てにおいて、職員と一緒にないと心配、困ったら職員頼み、混乱して騒いでしまう、などなどありましたが経験は力なり。今では一人で会計、困ると店員さんに声を掛ける、レシートとお釣りをちゃんとお財布に入れる、一連の動作が出来るようになりました。ちゃんと職員の行動を見てアドバイスを受け入れ、自分でどうすべきかを考え実行する。あんなに心配そうにしていたのに、堂々と買い物をしている。おお～すごいじゃん！

買い物体験は社会生活のほんの一部ですが、自分でできた！という達成感は、子どもたちの自信も大きく育てます。様々な経験を得て一歩ずつ、やがて大きな自立への道につながります。見守る私たちにとっても子どもたちの成長を実感できた、かけがえのない瞬間です。社会って満更ではないかも。そんなふうに思えてくれたらいいです。

相談支援事業所アベリア

ご本人の「やってみたい」を地域とつなぐ

アベリア 館野 真生

相談支援事業所アベリアはサービス等利用計画の作成、ご本人や家族からの相談、情報提供、関係機関との連携、モニタリングを行いながら適切に障害福祉サービスが利用できるように支援を行っています。相談内容は生活上の悩み、サービス利用、将来への不安、就労相談など様々です。今回は本人の希望や要望を様々な角度から聞きとり、地域の資源と繋がり、やりたいことや希望の実現につながった一例を紹介します。

最初のケースは手話を使ってコミュニケーションをとる方からの相談で、余暇活動を充実させたいと相談がありました。ヘルパー事業所に相談すると手話サークルを知っており、見学を行いヘルパーと一緒に通うことができるようになりました。次は金銭管理が苦手な方からの相談で、都内に旅行に行ってみたいと相談がありました。後見人が入っているため毎月旅行の積み立てを行う計画を立て、先日希望する旅行先に出かけることができ、次は関西方面に行くために貯金を始めました。

最後に一人暮らしの方が骨折をしてしまい入院、手術をする必要があったが、自宅で飼っている猫にえさを上げる人がいないから入院はしないというケースがありました。行政や動物愛護団体、大家さんに確認をとりましたが解決方法はみつかりませんでした。そこで以前居室のエアコン掃除を依頼した便利屋さんに聞いてみると猫のえさやりも可能と返事をもらい、本人に伝えたと手術入院をすとお話がありました。

このように行政が提供する福祉サービス以外にも地域の資源、様々な人と関わることで自己実現につながれることもあります。新しいことに挑戦、やってみたい、あそこに行ってみたい、あそこのご飯を食べてみたいなど、楽しみが持てるような、ワクワクする相談がございましたら次回のモニタリングの時に聞かせていただき、実現に向けて今できることをみんなで考えていきましょう。

本部事業報告

令和7年度事業報告（法人）

1. 役員会等

日付	項目	内容
R7.5.20	監事による監査	・ R 6 年度会計及び施設運営状況等について
R7.5.27	第 1 回理事会	・ R 6 年度事業報告及び決算報告等について / 次回評議員会招集項目等について / その他
R7.6.17	評議員選任解任委員会	・ 評議員候補者の選任について
R7.6.17	第 1 回評議員会	・ R 6 年度決算報告及び財産目録の承認について / 役員の選任について / その他
R7.6.17	第 2 回理事会	・ 理事長及び業務執行理事の選定について
R7.10.24	第 3 回理事会	・ 給与支給規定見直しについて
R8.3.24	第 4 回理事会	・ R 7 年度第一次補正予算について / R 8 年度事業計画及び当初予算について / その他

2. 人材育成及び人材確保 人事考課制度の運用、各種研修会への参加、処遇改善事業の推進
3. 社会貢献事業 実習生の受け入れ、ふくし総合相談支援事業への参画、他機関との連携・協働
4. 情報公開 WAM-NET にて財務状況等公開、広報誌及びホームページの活用等
5. 委員会活動 苦情解決・感染予防・虐待防止・身体拘束適正化等委員会活動の推進

社会福祉法人三山黎明会ホームページのご案内（法人情報を公開しています）

法人の詳しい事業内容等がご覧になれます → → → <http://www.mireimei.or.jp/>

社会福祉法人三山黎明会 〒371-0056 前橋市青柳町 983-1

まほろ TEL027-233-2561 / FAX027-233-2560 らいず TEL027-260-1900 / FAX027-233-2588
 サニーマーケット TEL027-212-8301 / FAX027-212-8302 アベリア TEL027-219-1133 / FAX027-233-2588
 ホームソレイユ / ホームあおぞら TEL027-260-1900（らいず内）